

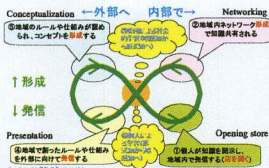


Title	地域の開放と持続可能性をめざしたエコツーリズムの管理について
Author(s)	敷田, 麻実; 森重, 昌之; 未永, 聡
Citation	日本観光研究学会2002年度総会・シンポジウムポスターセッション
Issue Date	2002-05
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/34796
Type	conference presentation
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	1184_2.pdf (ポスター)



[Instructions for use](#)

地域の開放と持続可能性をめざした エコツーリズムの管理について



(目的) エコツーリズム管理・政策立案のために、新しいモデルの提案！

本研究ではエコツーリストの受入と、地域の自然環境や生態系の持続可能な利用の両立を実現するエコツーリズムの管理モデル(敷田・森重・末永のCONPサーキットモデル)を提案した。

金沢工業大学環境システム工学科 敷田 麻実
 パシフィックコンサルタンツ株式会社 森重 昌之
 北陸先端科学技術大学院大学 末永 聡

本当？

マスツーリズムとちがいで、地域の自然環境や社会に影響を与えないと期待されていたが……



エコツーリズムもやっぱり地域の自然環境や社会に影響を与えてしまう……

地域外からのエコツーリストの受入が、地域の自然環境や社会にとって**負荷**になることがある

「旅の恥はかきすて」型のエコツーリスト

But,

しかし、注意深い管理によって両立できるのでは？

エコツーリストの受入

地域の自然環境や生態系の持続可能な利用



エコツーリズムの管理のポイント

- ①地域外からのエコツーリストの来訪を前提（エコツーリズムも観光の一形態）
- ②自然環境や生態系は常に変化しているため、順応的な管理が必要
- ③自然環境や生態系に関する管理者の知識は不完全であり、学習が常に必要
- ④エコツーリストの利用も変化する（社会経済や自然環境・生態系への価値認識の変化によって）



Answer!

エコツーリズムのサーキットモデル 敷田・森重・末永モデル(CONPモデル)

地域の生態系や社会の開放と持続可能性の追求の二兎を追う管理とは？



- ①エコツーリストによる管理へのインプット（知識を活用）
- ②定期的な学習
- ③連続的な知識の創造プロセス（「ナレッジ・マネジメント」）

優れたエコツーリズムを創出しようと考えている地域における政策立案のモデル

And, after

このモデルに基づいたケーススタディを実施予定 北海道黒松内町、石川県白峰村、西表島、そのほか

